

1 研究主題

「主体的に学び、すすんで表現する子どもの育成」 ～「友だちタイム」を生かした算数科の授業づくり～

2 主題設定の理由

近年の社会情勢は激しく変化しており、このような社会で生きていく児童には、知識や技能を活用して問題を解決する力、集めた情報や知識から新しい考えを作り出す力、他者との対話や協働を通して、合理的・批判的に判断して答えを導き出す力などが求められ、資質・能力の育成を目指す教育が重視されるようになってきた。国立教育政策研究所からは、基礎力・思考力・実践力で構成される「21 世紀型能力」が提案され、新学習指導要領が、令和2年度4月1日から全面实施となる。

本校は、「夢をもち心豊かにたくましく生きる神野っ子の育成」を学校教育目標として掲げ、「健・心・知・行・和」の調和のとれた子どもの育成を目指している。昨年度は、算数科、体育科の2教科を主研究教科とし、「かかわる」活動を工夫した授業実践を通して、『主体的に学び、「わかる」「できる」喜びを感じる子どもの育成』に取り組んできた。一年間の実践を通して、以下のような成果がみられた。算数科では、課題提示の工夫や友達タイムの在り方を意識した授業づくりに取り組み、認め合う・教え合う・高め合う「友だちタイム」を通して、それぞれの学年で子供の実態に応じた手立てを講じて成果を上げた。体育科では、一昨年度までの自己評価力を育成させる研究の積み上げの基、「できる」「わかる」を往還させる対話活動を意識した授業づくりに取り組み、より多くの児童が自分に合った運動との付き合い方を考えるに至った。

本校は、長年算数科の研究を続けてきており、電子黒板の活用や具体物の提示など、今まで培ってきたものから工夫・改善ができた。しかし、「友だちタイム」については各学年の発達段階を考慮し、学習内容に応じて学習形態等を変え、より多くの児童と意見交流ができるような取り組みがなされてきた。低学年で培ったものが、中・高学年と進むにつれて、生かされていくような更なる「友だちタイム」の在り方について探っていく必要がある。

昨年度の学習状況調査の結果から、本校児童は佐賀県平均を共に上回っていた。しかし、表現力や活用力を問う問題に対して「自分の考えをもって、表現する力」の不足という課題が見られる。本校では、少人数での話し合いだけでなく、クラス全体での話し合いも含めて「友だちタイム」と位置づけ、問題解決型の授業を通して「友だちタイム」を効果的に進めていくことで個々の基礎学力の向上へとつながると考えられる。そこで、研究主題を『主体的に学び、すすんで表現する子どもの育成』と設定し、授業の中で教師や友だち等と関わることで主体的な学びへとつながることを考え、『「友だちタイム」を生かした算数科の授業づくり』と副主題を設定した。

3 研究目標

主体的に学び、すすんで表現する子どもを育成するために、算数科を研究教科とし、授業実践を通して「友だちタイム」の在り方を探る。

4 研究仮説

場面や形態等で、効果的な「友だちタイム」を設定していけば、進んで課題に取り組み、自分の考えをもち進んで表現しようとする子どもが育つであろう。

5 研究の内容及び方法

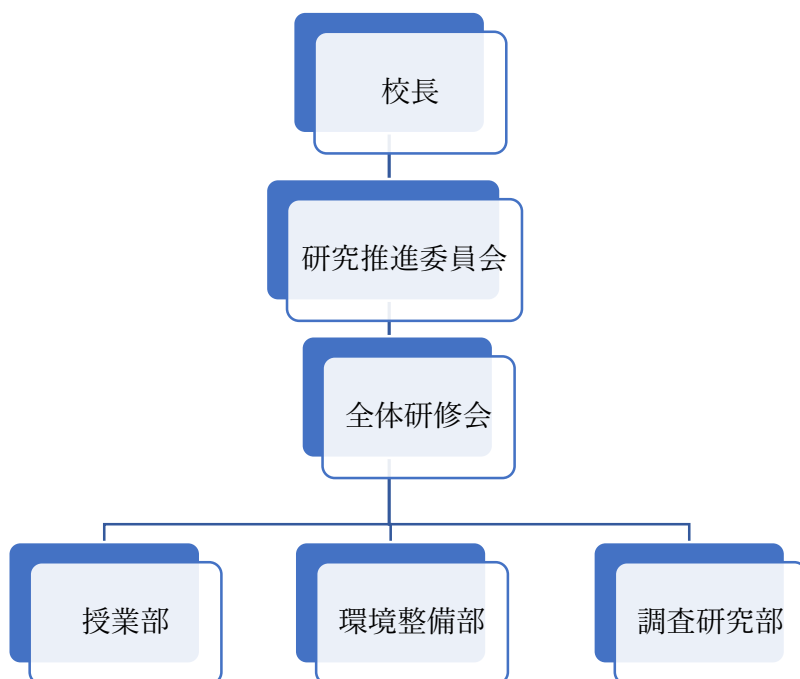
(1) 算数科を中心とした授業づくり

- ① 「友だちタイム」の確認と改善
- ② 学習環境の整備
 - ・授業実践を通じた教具・提示物の共有
- ③ 児童意識の変遷の調査

(2) 研究授業並びに授業研究会

- ・全校授業……講師招聘して研究授業と研究会を行う。
- ・グループ授業…低・中・高グループを中心に研究授業と研究会を行う。

(3) 研究組織



○研究推進委員

研究主任	研究副主任	研究副主任	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	級外
渡辺	武富	森	小池	小宮	武富	森	小林	渡辺	村山	新川

《推進委員の役割》

- ・校長、教頭、主幹教諭、教務、研究主任、学年、特別支援教育部、少人数指導で組織し、研究の考え方や進め方についての推進役を担い、研究の企画・立案・実践・評価を行う。
- ・研究授業における企画・連絡・調整および授業研究会における運営・司会を行う。

○ 学年(低・中・高・特別支援)部会

- ・推進委員を中心に、研究の計画・実践・反省・評価を行う。

6 研究計画

* 主な予定 (◎全校研, ▲研究3部会△学年部会, ★推進委, ☆調査テスト, ○その他)

	月	日	内容
一学期	4	上旬	◎少人数授業などきめ細かな指導の実施体制について ○朝の「立腰タイム」スタート
		中旬	☆全国学力・学習状況調査(国語, 算数 6年生全児童対象) ☆佐賀県学力・学習状況調査(国語, 算数 5年生全児童対象) ★第1回推進委員会(本年度の研究主題および研究目標・内容・方法・計画等原案検討)
	5	上旬	◎第1回全体研修会
		下旬	▲研究3部会(各部における研究の目標, 手立ての検討)
夏季休業中	6	上旬	★第2回推進委員会(研究3部会の研究目標, 手立て及び研究計画の確認)
		19日	◎全校授業研(講師招聘なし)および授業研究会「第2回全体研修会」
	7	中旬	★第3回推進委員会(1学期の振り返り及び夏季休業中の研修についての検討) ◎第3回全体研修会
		随時	▲研究3部会(授業作りについて手立ての修正・2学期の授業計画) △学年部会(2学期授業に向けて指導案作成)
二学期	8	随時	★第4回推進委員会(2学期の計画・授業作りについての共通理解)
		下旬	◎第4回全体研修会
	9	随時	△学年部会 ▲研究3部会
	10	9日	◎全校授業研(講師招聘)および授業研究会「第5回全体研修会」
11		13日	◎全校授業研(講師招聘)および授業研究会「第6回全体研修会」
		下旬	★第5回推進委員会(2学期授業の振り返り及び研究のまとめ等)
12	下旬	☆佐賀県学力・学習状況調査(国語, 算数 4・5・6年生全児童対象) ▲研究3部会(研究のまとめ 原稿作成)	
	冬季休業	△学年部会(研究のまとめ 原稿作成)	
三学期	1	随時	▲研究3部会(研究のまとめ) △学年部会(研究のまとめ)
		下旬	★第6回推進委員会 ◎第7回全体研修会(来年度の校内研究について)
2	下旬	◎第8回全体研修会(研究のまとめ, 冊子読み合わせ・来年度の計画について)	